

「脱原発」を声高に叫ぼう!! 京都大学原子炉実験所を見学



5月2日、大阪府泉南郡熊取町の国立京都大学原子炉実験所において、「学術公開（施設見学）」が開催されました。この「学術公開」に新幹線関西地本からは、第一陣として、地本及び各分会から6名が参加しました。

3月11日の東日本大震災により原子炉が地震と津波に襲われた福島第1原子力発電所の爆発事故が、大量の放射能を撒き散らした1986年4月のチェルノブイリ原子力発電所の爆発事故と匹敵するといわれています。

また、1945年に広島・長崎に原子力爆弾が投下され、広島ではウラン原爆（リトルボーイ）14万人、長崎ではプルトニウム原爆（ファットマン）7万人と推定される尊い命が一瞬にして奪われました。

さらに、1954年3月のビキニ環礁で日本の「第5福竜丸」が米国による水爆実験により被曝、1999年9月30日に茨城県東海村の核燃料加工工場（JCO）で、「臨界事故」と呼ばれる事故が起こり、作業に当たった3人の労働者が大量の放射能により被曝しました。



戦争目的では「核」、平和利用の名のもとでは「原子力」と名を変えて呼ばれていますが、大量の放射能により被曝することには代わりはありません。

私たちは、原子力発電所における専門的な知識について学び、国内に55カ所の原発の即時停止・廃止を求めていると考えます。

私たちは、原子力発電所における専門的な知識について学び、国内に55カ所の原発の即時停止・廃止を求めていると考えます。

次回は6月13日（月）に「学術公開（施設見学）」が実施されます。

